

## &lt; 地区別の転出入先の分析（平成 30 年） &gt;

## 全年齢

## ○転出入数の傾向

- ・小牧南地区、小牧地区は市平均よりも転出入の異動割合が高い。
- ・篠岡地区（桃花台地区含む）は転入の異動割合が低い。
- ・北里地区は、転入が転出を上回る唯一の社会増となっている。

転出入における地区別の異動割合				
	全年齢			
	人口(H31.1.1現在)	転入	転出	転入－転出
市全体	152,971人	3.6%(5,526人)	4.4%(6,733人)	△0.8ポイント(△1,207人)
小牧南地区	21,461人	4.8%(1,026人)	6.1%(1,317人)	△1.3ポイント(△291人)
小牧地区	28,161人	4.8%(1,357人)	5.1%(1,438人)	△0.3ポイント(△81人)
巾下地区	16,247人	3.8%(622人)	4.7%(771人)	△0.9ポイント(△149人)
味岡地区	33,762人	3.3%(1,118人)	3.9%(1,307人)	△0.6ポイント(△189人)
北里地区	19,747人	3.4%(667人)	3.4%(663人)	+0.0ポイント(+4人)
篠岡地区	33,593人	2.2%(736人)	3.7%(1,237人)	△1.5ポイント(△501人)
うち桃花台地区	22,604人	2.1%(464人)	4.0%(896人)	△1.9ポイント(△432人)

## ○転出入先の傾向

転入元：1位 春日井市、2位 犬山市、3位 岩倉市

愛知県内からの転入は全体の51%、国外10%

転出先：1位 春日井市、2位 犬山市、3位 岩倉市

愛知県内への転出は全体の56%、国外7%

※転出入先の傾向については、隣接する市町への転出入が高い傾向にある。

(Ex. 北里地区では、岩倉市、一宮市が高い)

市全体と地区別を比較して、転出入先の傾向は大きく変わらなかったが、愛知県内からの転出入の割合に顕著な差があった。

- ・小牧南地区は、転入・転出ともに愛知県内の占める比率が低い。
- ・北里地区は、転入において愛知県内の占める割合が高い。
- ・篠岡地区（桃花台地区含む）は、転出において愛知県内の占める割合が高い。

## 20～40 歳代

## ○転出入数の傾向

- ・小牧地区、小牧南地区は、転入の異動割合が高い。
- ・篠岡地区（桃花台地区含む）は、転入の異動割合が低い。
- ・北里地区は、転入が転出を上回る唯一の社会増となっている。

	20～40歳代			
	人口(H31.1.1現在)	転入	転出	転入－転出
市全体	60,815人	6.6%(4,029人)	7.9%(4,800人)	△1.3ポイント(△771人)
小牧南地区	9,286人	8.0%(744人)	10.0%(925人)	△2.0ポイント(△181人)
小牧地区	12,314人	8.5%(1,046人)	8.7%(1,076人)	△0.2ポイント(△30人)
巾下地区	6,870人	7.2%(496人)	8.2%(564人)	△1.0ポイント(△68人)
味岡地区	13,333人	6.0%(794人)	6.7%(899人)	△0.7ポイント(△105人)
北里地区	7,686人	6.7%(513人)	6.3%(483人)	+0.4ポイント(+30人)
篠岡地区	11,326人	3.8%(436人)	7.5%(853人)	△3.7ポイント(△417人)
うち桃花台地区	7,594人	3.3%(250人)	7.9%(603人)	△4.6ポイント(△353人)

## 全年齢と20～40歳代の比較

- ・転出入の異動割合の乖離幅（転入－転出）を比較すると、最も差が大きいのは、篠岡地区（桃花台地区含む）となった。
- ⇒篠岡地区（桃花台地区含む）の差が大きい要因として、20～40歳代の転入が少ないことが挙げられる。